

## (6) 平成26年度予算及び決算

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	3, 171	3, 200	29	(注1)
うち補正予算による追加	—	—	—	
施設整備費補助金	284	284	0	
うち補正予算による追加	—	—	—	
船舶建造費補助金	—	—	—	
施設整備資金貸付金償還時補助金	—	—	—	
補助金等収入	10	11	1	(注2)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	25	28	3	(注3)
自己収入	916	913	△3	
授業料、入学金及び検定料収入	804	804	0	
附属病院収入	—	—	—	
財産処分収入	—	—	—	
雑収入	112	109	△3	(注4)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	100	108	8	(注5)
引当金取崩	—	—	—	
長期借入金収入	—	—	—	
貸付回収金	—	—	—	
目的積立金取崩	—	—	—	
計	4, 506	4, 544	38	
支出				
業務費	4, 087	3, 963	△124	
教育研究経費	4, 087	3, 963	△124	(注6)
診療経費	—	—	—	
施設整備費	309	312	3	(注7)
船舶建造費	—	—	—	
補助金等	10	10	0	
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	100	84	△16	(注8)
貸付金	—	—	—	
長期借入金償還金	—	—	—	
国立大学財務・経営センター施設費納付金	—	—	—	
計	4, 506	4, 369	△137	
収入－支出	—	175	175	

## ○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、予算段階で予定していなかった特別運営費交付金が交付されたことにより、予算額に比して決算額が29百万円多額となっています。
- (注2) 補助金等収入については、補助金決定額の増加により、予算額に比して決算額が1百万円多額となっています。
- (注3) 国立大学財務・経営センター施設費交付金については、交付決定額の増加により予算額に比して決算額が3百万円多額となっています。
- (注4) 雑収入については、職員宿舍貸付料収入・研究関連収入及び講習料等収入の減少等により、予算額に比して決算額が3百万円少額となっています。
- (注5) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、当初の見込みよりも産学連携等研究収入が増加したことから、予算額に比して決算額が8百万円多額となっています。また、決算額には、前年度からの繰越額24百万円が含まれています。

(注6) 教育研究経費については、退職手当及び業務達成基準に基づく繰越等により、予算額に比して決算額が124百万円少額となっています。

(注7) (注3)に示した理由により、予算額に比して決算額が3百万円多額となっています。

(注8) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、当初の見込みより寄附金事業費が減少したことから、予算額に比して決算金額が16百万円少額となっています。